



Application

iPS細胞由来ドーパミン神経の蛍光免疫組織学的検討

製品名

μ-Plate 96-well-plate, ibiTreat (ib89626)

メーカー名

イビディ
ibidi 社

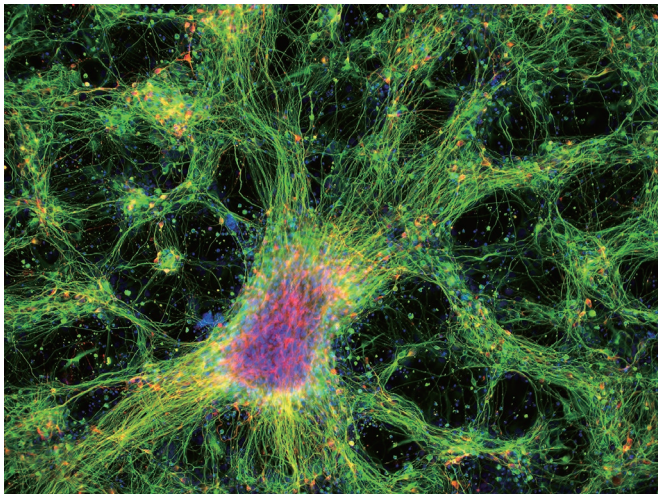
下記フィードバックは、京都大学iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 神経再生研究分野 (高橋淳研究室) 森実飛鳥特定拠点助教の御厚意により掲載させていただきました。

使用条件

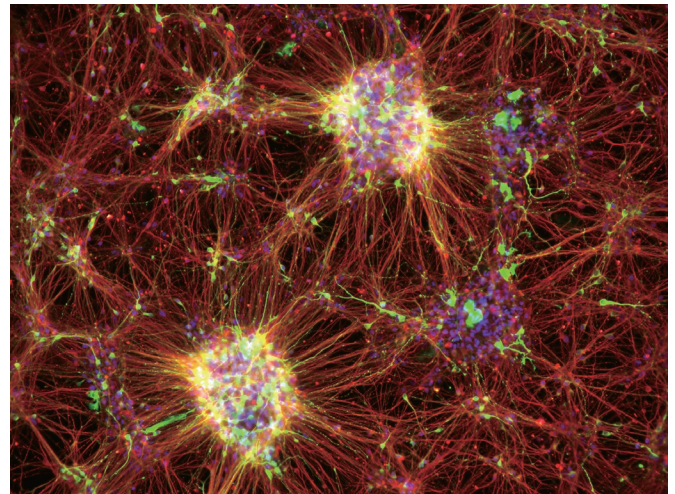
- 細胞名 : ヒトiPS細胞 (1231A3株) から誘導したドーパミン神経細胞
- 細胞培養容器 : ibidi μ-Plate 96-well-plate, ibiTreat (ib89626)
- コーティング : 0.17μg iMatrix-511 (ニツピ) / 100μL PBS / well (37°C 1時間)
- 使用染色試薬 : <1次抗体> Anti-Tyrosine hydroxylase (TH) antibody (Millipore AB152)
Anti-TubβIII antibody (BioLegend 801201)
Anti-Foxa2 antibody (R&D AF2400)
DAPI (Vector Laboratories)
<2次抗体> Thermo Fisher Scientific, Alexa Flourシリーズ donkey (488, 594, 647)
- 観察機器 : BZ-X710 (キーエンス)
- 培養条件 : 細胞をμ-Plate 96-well-plateに再播種し7日間 Neurobasal (Thermo Fisher Scientific)
+ B27 (Thermo Fisher Scientific 12587010)
+ 神経栄養因子 (GDNF, BDNF, アスコルビン酸、dbcAMP等) 培地で培養
- 染色条件 : ① 4% PFA固定、0.3% Triton処理、ロバ血清にてblocking、1次抗体 (室温12時間)
② 2次抗体 (室温1時間)

結果

Tubulin βIII, Tyrosine hydroxylase, DAPI



Tyrosine hydroxylase, Tubulin βIII, Foxa2



お客様のコメント

ibidi μ-Plate 96は培養中の位相差顕微鏡での観察に優れ、固定後の蛍光の観察や撮影にもバックグラウンドが少なく適していた。

μ-Plate 96well ハイスループットアプリケーション対応プレート

- ibiTreatによる高い細胞接着性
- プレート底は共焦点顕微鏡に使用可能な、薄いプラスチックフィルム
⇒ ibidi社独自のプラスチックフィルムを使用 (ガラスと同等の光学性能、低い自家蛍光)
- ANSI/SBS規格に対応
- マルチチャンネルピペット、自動分注ロボットに対応可能
- 化合物スクリーニングや、トランスフェクションアッセイに使用可能

